【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公表番号】特表2003-500445(P2003-500445A)
【公表日】平成15年1月7日(2003.1.7)
【出願番号】特願2000-620954(P2000-620954)
【国際特許分類第７版】
Ａ６１Ｋ　31/201
Ａ２３Ｌ　 1/30
Ａ２３Ｌ　 1/302
Ａ２３Ｌ　 1/303
Ａ２３Ｌ　 1/304
Ａ６１Ｋ　31/07
Ａ６１Ｋ　31/202
Ａ６１Ｋ　31/355
Ａ６１Ｋ　31/375
Ａ６１Ｋ　31/525
Ａ６１Ｋ　31/592
Ａ６１Ｋ　33/06
Ａ６１Ｋ　38/00
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　 3/02
Ａ６１Ｐ　 3/14
Ａ６１Ｐ　15/14
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　43/00
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/201
Ａ２３Ｌ　 1/30　　Ｚ
Ａ２３Ｌ　 1/302
Ａ２３Ｌ　 1/303
Ａ２３Ｌ　 1/304
Ａ６１Ｋ　31/07
Ａ６１Ｋ　31/202
Ａ６１Ｋ　31/355
Ａ６１Ｋ　31/375
Ａ６１Ｋ　31/525
Ａ６１Ｋ　31/592
Ａ６１Ｋ　33/06
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　 3/02
Ａ６１Ｐ　 3/02　　１０１
Ａ６１Ｐ　 3/14
Ａ６１Ｐ　15/14
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　43/00　　１０１
Ａ６１Ｐ　43/00　　１２１
Ａ６１Ｋ　37/02

【手続補正書】
【提出日】平成16年3月26日(2004.3.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　リノール酸化合物、リノレン酸化合物、その誘導体およびその組合せから選択される約１０ｍｇから約１０００ｍｇまでの第一の脂肪酸化合物；
ドコサヘキサエン酸化合物、オメガ－３脂肪酸、オメガ－２脂肪酸、その誘導体およびその組合せから選択される約１０ｍｇから約１０００ｍｇまでの第二の脂肪酸化合物；および
前記第二の脂肪酸化合物に対する前記第一の脂肪酸化合物の重量比が、約１：０．０１から１０であることを特徴とする、女性によって母乳を授乳される乳児の神経学上の発達を最適にするために、女性の母乳を豊富にする目的で、女性に投与する組成物。
【請求項２】　リノール酸化合物、リノレン酸化合物、その誘導体およびその組合せから選択される５５ｋｇの哺乳類の体重当たり約１０ｍｇから約１０００ｍｇまでの第一の脂肪酸化合物；
ドコサヘキサエン酸化合物、オメガ－３脂肪酸、オメガ－２脂肪酸、その誘導体およびその組合せから選択される５５ｋｇの哺乳類の体重当たり約１０ｍｇから約１０００ｍｇまでの第二の脂肪酸化合物を包含し；および
前記第二の脂肪酸化合物に対する前記第一の脂肪酸化合物の重量比が、約１：０．０１から１０であることを特徴とする、メスの哺乳類によって授乳される新生児の神経学上の発達を最適にするために前記メス哺乳類のミルクを豊富にする目的で、メスの哺乳類に投与する組成物。
【請求項３】　リノール酸化合物、その誘導体およびその組合せから選択される約１０ｍｇから約１００ｍｇまでの第一の脂肪酸化合物；
ドコサヘキサエン酸化合物、オメガ－３脂肪酸、オメガ－２脂肪酸、その誘導体およびその組合せから選択される約１０ｍｇから約１０００ｍｇまでの第二の脂肪酸化合物を包含し；および
前記第二の脂肪酸化合物に対する前記第一の脂肪酸化合物の重量比が、約１：０．０１から１０であることを特徴とする、女性によって母乳で育てられる乳児の神経学上の発達を最適にするために女性の母乳を豊富にする目的で、女性に投与する組成物。
【請求項４】　前記組成物が、さらに、カルシウムを含む請求項１～３のいずれか一項記載の組成物。
【請求項５】　前記カルシウムが、約３００ｍｇから約２５００ｍｇまでの量で前記組成物中に存在する請求項４に記載の組成物。
【請求項６】　ａ）リノール酸化合物、リノレイン酸化合物、その誘導体およびその組合せから選択される約１０ｍｇから約１００ｍｇまでの第一の脂肪酸化合物；
ｂ）ドコサヘキサエン酸化合物、オメガ－３脂肪酸、オメガ－２脂肪酸、その誘導体およびその組合せから選択される約１０ｍｇから約１０００ｍｇまでの第二の脂肪酸化合物；
ｃ）約２０ｍｇから約１２５ｍｇまでのビタミンB_6化合物またはその誘導体；
ｄ）約０．１ｍｇから約３ｍｇまでの葉酸化合物またはその誘導体；
ｅ）約１００ｍｇから約２０００ｍｇまでのカルシウム化合物またはその誘導体を包含し；および
前記第二の脂肪酸化合物に対する前記第一の脂肪酸化合物の重量比が、約１：０．１から１０であることを特徴とする、女性によって母乳で授乳される乳児の神経学上の発達を最適にするために、女性の母乳を豊富にする目的で、女性に投与する組成物。
【請求項７】　前記組成物が、さらに、ビタミンＣ化合物、ビタミンＥ化合物、およ

びその組合せから選択されるビタミン化合物含む請求項１～６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項８】 前記ビタミンＣ化合物が、約２５ｍｇから約５００ｍｇまでの範囲にある量で前記組成物に存在する請求項７に記載の組成物。

【請求項９】 前記ビタミンＥ化合物が、約１０ＩＵから約４００ＩＵまでの範囲にある量で前記組成物に存在する請求項７に記載の組成物。

【請求項１０】 ａ）リノール酸化合物、リノレン酸化合物、その誘導体およびその組合せから選択される約１０ｍｇから約１００ｍｇまでの第一の脂肪酸化合物；

ｂ）ドコサヘキサエン酸化合物、オメガ－３脂肪酸、オメガ－２脂肪酸、その誘導体およびその組合せから選択される約１０ｍｇから約１０００ｍｇまでの第二の脂肪酸化合物；

ｃ）約２０ｍｇから約１２５ｍｇまでのビタミンB_6化合物またはその誘導体；

ｄ）約０．１ｍｇから約３ｍｇまでの葉酸化合物またはその誘導体；

ｅ）約１００ｍｇから約２０００ｍｇまでのカルシウム化合物またはその誘導体；

ｆ）約２５ｍｇから約５００ｍｇまでのビタミンＣ化合物またはその誘導体；

ｇ）約１０ｍｇから約４００ｍｇまでのビタミンＥ化合物またはその誘導体；

を包含し；そして

前記第二の脂肪酸化合物に対する前記第一の脂肪酸化合物の重量比が、約１：０．１から１０であることを特徴とする、女性によって母乳で保育される乳児の神経学上の発達を最適にするために、女性の母乳を豊富にする目的で、女性に投与する組成物。

【請求項１１】 前記組成物が、さらに、さらなるビタミン化合物またはその誘導体を含む請求項１～１０のいずれか一項記載の組成物。

【請求項１２】 前記さらなるビタミン化合物が、ビタミンＡ化合物、Ｂ複合ビタミン化合物、ビタミンＤ化合物、およびその組合せから選択される請求項１１に記載の組成物。

【請求項１３】 前記組成物が、さらに、生物学上許容しうるミネラル化合物またはその誘導体を含有する請求項１～１２のいずれか一項記載の組成物。

【請求項１４】 前記生物学上許容しうるミネラル化合物が、マグネシウム、鉄およびその組合せから選択される請求項１３に記載の組成物。

【請求項１５】 前記組成物が、さらに、生物学上活性な物質を含有する請求項１～１４のいずれか一項記載の組成物。

【請求項１６】 前記生物学上活性な物質が、ラクトゲン化合物またはその誘導体である請求項１５に記載の組成物。

【請求項１７】 前記組成物が、妊娠の１０週より遅くない始まる期間の間投与される請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項１８】 前記組成物が、少なくとも妊娠の約１０週に始まる時間の期間中投与される請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項１９】 前記組成物が、授乳中の母親の特別の生理学上の必要性に見合うように適合される請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項２０】 前記組成物が、経口剤形にある請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項２１】 前記経口剤形が、即時放出、延長放出、パルス放出、遅延放出、制御放出およびその組合せから選択される請求項２０に記載の組成物。

【請求項２２】 前記経口剤形が、チュワブル錠剤、急速分解性錠剤、発泡性錠剤、硬質ゼラチンカプセル剤、軟質ゼラチンカプセル剤、再構築性粒子、微粒子、懸濁液、エリキシル剤、カプレット剤、補強食、プディング、ヨーグルト、ゼラチン、シリアルおよびその組合せから選択される請求項２０に記載の組成物。

【請求項２３】 前記組成物が、２４時間の期間中に１回投与される請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項２４】 前記組成物が、２４時間の期間中に少なくとも２回投与される請求

項１～１６のいずれか一項記載の組成物。
【請求項２５】 前記組成物が、乳汁産生を増大する請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。
【請求項２６】 前記組成物が、授乳期の間に生成される母乳の量を増大する請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。
【請求項２７】 前記組成物が、女性における必須の脂肪酸の欠乏を防止する請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。
【請求項２８】 前記組成物が、使用期間を示す兆候を伴って提供される請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。
【請求項２９】 前記使用期間が、授乳の前、間、および後である請求項２８に記載の組成物。
【請求項３０】 前記期間が、妊娠の約１０週に始まる請求項２８に記載の組成物。
【請求項３１】 前記組成物が、授乳の期間の時期を延長する請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。
【請求項３２】 前記組成物が、前記母乳の品質を改善する請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。
【請求項３３】 前記組成物が、天然の生物学上の経路を通して前記母乳の豊化を達成する請求項１～１６のいずれか一項記載の組成物。
【請求項３４】 リノール酸化合物、リノレイン酸化合物、その誘導体およびその組合せから選択される第一の脂肪酸化合物；及び
ドコサヘキサエン酸化合物、オメガ－３脂肪酸、オメガ－２脂肪酸、その誘導体およびその組合せから選択される第二の脂肪酸化合物を包含し；
前記第一の脂肪酸化合物が前記第二の脂肪酸化合物と共に提供され；
前記第二の脂肪酸化合物に対する前記第一の脂肪酸化合物の重量比が、約１：０．１から１０であり；及び
前記組成物が、少なくとも妊娠の約１０週に開始し、授乳の終わりで完了するか期間中、女性に投与される；
ことを特徴とする、女性によって母乳で育てられる乳児の神経学上の発達を最適にするために女性の母乳を豊富にする目的で、女性に投与される組成物。
【請求項３５】 リノール酸化合物、リノレイン酸化合物、その誘導体およびその組合せから選択され、そして約１０ｍｇから約１００ｍｇまでの量で供給される第一の脂肪酸化合物；及び
ドコサヘキサエン酸化合物、オメガ－３脂肪酸、オメガ－２脂肪酸、その誘導体およびその組合せから選択され、そして約１０ｍｇから約１０００ｍｇまでの量で供給される第二の脂肪酸化合物を包含し；
前記第一の脂肪酸化合物が前記第二の脂肪酸化合物と共に提供され；
前記第二の脂肪酸化合物に対する前記第一の脂肪酸化合物の重量比が、約１：０．１から１０であり；及び
前記組成物が、少なくとも妊娠の約１０週に開始する期間中、女性に投与される；
ことを特徴とする、女性によって母乳で育てられる乳児の神経学上の発達を最適にするために女性の母乳を豊富にする目的で、女性に投与される組成物。
【請求項３６】 リノール酸化合物、リノレイン酸化合物、その誘導体およびその組合せから選択される第一の脂肪酸化合物；及び
ドコサヘキサエン酸化合物、オメガ－３脂肪酸、オメガ－２脂肪酸、その誘導体およびその組合せから選択される第二の脂肪酸化合物を包含し；
前記第一の脂肪酸化合物が前記第二の脂肪酸化合物と共に提供され；
前記第二の脂肪酸化合物に対する前記第一の脂肪酸化合物の重量比が、約１：０．１から１０であり；及び
前記組成物が、少なくとも妊娠の約１０週に開始する期間中、メスの哺乳類に投与される；

ことを特徴とするメスの哺乳類によって授乳される新生児の神経学上の発達を最適にするために前記メス哺乳類のミルクを豊富にする目的で、メスの哺乳類に投与する組成物。

【請求項３７】 前記組成物が、さらに、前記第一および第二の脂肪酸化合物と一緒に、ビタミン化合物またはその誘導体を含むことを特徴とする請求項３４～３６のいずれか一項記載に記載の組成物。

【請求項３８】 前記組成物が、さらに、前記第一および第二の脂肪酸化合物と一緒に、生物学上許容しうるミネラル化合物を含むことを特徴とする請求項３４～３７のいずれか一項記載に記載の組成物。

【請求項３９】 リノール酸化合物、リノレイン酸化合物、その誘導体およびその組合せから選択され、そして約１０ｍｇから約１００ｍｇまでの量で供給される第一の脂肪酸化合物；

ドコサヘキサエン酸化合物、オメガ－３脂肪酸、オメガ－２脂肪酸、その誘導体およびその組合せから選択され、そして約１０ｍｇから約１０００ｍｇまでの量で供給される第二の脂肪酸化合物；及び

ビタミン化合物、生物学上許容しうるミネラル化合物、その誘導体およびその組合せから選択される栄養化合物を包含し；

前記第一の脂肪酸化合物が前記第二の脂肪酸化合物と共に提供され；

前記第二の脂肪酸化合物に対する前記第一の脂肪酸化合物の重量比が、約１：０．１から１０であり；及び

前記組成物が、少なくとも妊娠の約１０週に開始する期間中、女性に投与される；

ことを特徴とする、女性によって母乳で育てられる乳児の神経学上の発達を最適にするために女性の母乳を豊富にする目的で、女性に投与される組成物。

【請求項４０】 前記ビタミン化合物が、ビタミンＡ化合物、Ｂ複合ビタミン化合物、ビタミンＣ化合物、ビタミンＤ化合物、ビタミンＥ化合物、およびその組合せからなる群より選択される請求項３７～３９のいずれか一項記載の組成物。

【請求項４１】 前記ビタミンＣ化合物が、約２５ｍｇから約４００ｍｇまでの範囲にある量で前記組成物に存在する請求項４０に記載の組成物。

【請求項４２】 前記ビタミンＥ化合物が、約１０ＩＵから約４００ＩＵまでの範囲にある量で前記組成物に存在する請求項４０に記載の組成物。

【請求項４３】 前記生物学上許容しうるミネラル化合物が、カルシウム、マグネシウム、鉄、およびその組合せから選択される請求項３８～４２のいずれか一項記載の組成物。

【請求項４４】 前記カルシウムが、約３００ｍｇから約２５００ｍｇまでの範囲にある量で前記組成物に存在する請求項４３に記載の組成物。

【請求項４５】 前記組成物が、さらに前記第一及び第二の脂肪酸化合物と共に生物学上活性な物質を含有する請求項３４～４４のいずれか一項記載の組成物。

【請求項４６】 前記生物学上活性な物質が、ラクトゲン化合物またはその誘導体である請求項４５に記載の組成物。

【請求項４７】 前記組成物が、授乳中の母親の特別の生理学上の必要性に見合うように適合される請求項３４～４６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項４８】 前記第一および第二の脂肪酸が、経口剤形で供給される請求項３４～４６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項４９】 前記経口剤形が、即時放出、延長放出、パルス放出、遅延放出、制御放出およびその組合せから構成される群から選択される請求項４８に記載の組成物。

【請求項５０】 前記経口剤形が、チュワブル錠剤、急速分解錠剤、発泡性錠剤、硬質ゼラチンカプセル剤、軟質ゼラチンカプセル剤、再構築性粒子、微粒子、懸濁液、エリキシル剤、カプレット剤、補強食、プディング、ヨーグルト、ゼラチン、シリアルおよびその組合せから構成される群から選択される請求項４９に記載の組成物。

【請求項５１】 前記組成物が、２４時間の期間中に１回投与される請求項３４～４６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項５２】　前記組成物が、２４時間の期間中に少なくとも２回投与される請求項３４～４６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項５３】　前記組成物が、乳汁産生を増大する請求項３４～４６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項５４】　前記組成物が、授乳の間に生成される母乳の量を増大する請求項３４～４６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項５５】　前記組成物が、女性に必須脂肪酸の欠乏を防止する請求項３４～４６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項５６】　前記組成物が、さらに、前記第一および第二の脂肪酸化合物の投与についての期間を示す兆候を含むことを特徴とする請求項３４～４６のいずれか一項記載の組成物。

【請求項５７】　前記組成物が、授乳の時期の期間を延長する請求項３４～４６のいずれか一項記載の組成物。